

平成30年度第1回放課後子どもプラン運営委員会

日 時 4月24日(火) 午前10時30分から12時

場 所 前原暫定集会施設A会議室

出席者 大熊教育長、藤本生涯学習部長、

田中委員長、浦野副委員長、志波委員、佐野委員、多田委員、大久保委員、本川委員、小林委員、水谷委員、黒田委員、鈴木委員

関生涯学習課長、西村公民館長、三浦庶務課長、浜田指導室長、鈴木児童青少年課長、梶野子育て支援課長

富沢コーディネーター、小岩コーディネーター、古源コーディネーター、森田コーディネーター、西田コーディネーター、吉田コーディネーター

小堀生涯学習係長、吉楽生涯学習課主任

欠席者 石原委員、菊池図書館長、伊野コーディネーター、

傍聴者 1名

1 開 会

(1) 小金井市放課後子どもプラン運営委員の委嘱状交付及び任命
任期：平成30年4月24日～平成31年3月31日

(2) 教育長挨拶

(3) 小金井市放課後子どもプラン運営委員及びコーディネーター紹介・挨拶

2 議 事

(1) 小金井市放課後子どもプラン運営委員会委員長及び副委員長の選出
運営委員長は田中委員、副委員長は浦野委員が選任された。

(2) 平成30年度小金井市放課後子ども教室の概要について

【事務局】資料に沿って説明

【委員】先程の放課後子ども総合プランの創設の概要の説明で、国の目標は平成30年までが、1年間前倒しされた。運営委員会等に影響があるのか。

【事務局】平成30年度の補助金説明会で、放課後子ども総合プランの目標について、平成30年度に1年間前倒ししたということで、平成30年度で総合プランは一旦終了し、31年度以降については、30年6月までに検証を行い、今後のことを検討すると聞いている。それ以上のことはまだわからない。

【委員】9小学校区で事業を展開していると説明があったが、予算案には実行委員会預かりという扱いで、中学校の放課後子ども教室が残っている。小学校区を中心と言いながら、ずっと中学校区をどうするかという課題が残っている。今年中

に中学校の教室について、どのように考えていくのか、小学校区だけで行わなければならないのか、今は緑中と第一中だけでやっているが、中学校区でやるなら他の中学校でも放課後子ども教室をやりたい、という希望も出ている。きちんと整理しなければならない。

【事務局】今回は第1回目ということで、委員の変更もかなりあったため、今年度中に検証していく。

(3) 平成30年度小金井市放課後子ども教室予算について

【事務局】資料3に沿って説明。放課後子ども教室運営委託費料は総額887万9千円。昨年より2万3千円の減となった。

【委員】先程の中学校問題と絡むが、一応安定して週三回放課後子ども教室があるように、二小では平成29年度実績で合計108回開催した。平成30年度の要望は110回で申請し、調整後98回となった。約10回少ない。また昨年度全く活動していない中学校区の団体に13回分の予算を組んでいる。これらは実行委員会に委託された後に、実行委員会で調整すればいいのか。

【事務局】実行委員会の中で全体的に細やかな調整をしながら、やっていただきたい。

【委員】中学校については実行委員会では討議できない。大きな観点から、運営委員会で方向性を出していただきたい。

【委員長】中学校区についてはずっと続いている。教育委員会が小金井市の放課後子どもプランの中で中学校での実施をどう考えるのか、明確に指導力を発揮して打ち出して、それを論議して、妥当なら妥当、修正ならその意見を聞きながら、市は方向を決めていく。特に今年度はそういう努力が必要となる。

平成30年度予算について、887万9千円を小金井市放課後子ども教室実行委員会に付託して活動を始めていただく。

(4) その他

【事務局】資料8、平成29年度第6回放課後子どもプラン運営委員会会議録を配布した。了承を得られればホームページで公開する（了承を得られた）。

【委員】子どもの居場所という観点で、子ども食堂は居場所として非常に重要な位置を占めてきている。今後放課後子どもプラン運営委員会で取り上げないか。

【委員長】放課後子ども総合プランは、かなり子どもの預かりとしての要素に重点が移っている。今の内閣が女性の働き方の変革促進の中で、子どもを心置きなく地域に預けて働ける体制作りの一環として、総合という名を付けて、全く新しい観点から打ち出してきた事業。そういう意味では、いわゆる子ども食堂とは若干趣旨が違う。むしろ小金井市として、子ども支援事業等の方向で議論するのが筋ではないか。地域の子どもの健全育成という視点で見れば枠組みに入るが、放課後子ども総合プランの性格から見ると若干違うように見える。

【コーディネーター】第二中学校で、放課後学習教室を、ボランティアで毎週水曜日に開催している。現在放課後子ども教室は小学校が中心で、中学校ではほとんどやっていない。今、小金井市で中学校の放課後の学習教室はどこもやっていることで、これを学校教育の延長として考えるのか、地域の人や学生を巻き込んで放課後子ども教室としてやっていくのか、今年度是非議論してもらいたい。

【委員】中学校区については、本年度皆さんの意見をいただきながら考えていく。

【委員長】これで平成30年度第1回小金井市放課後子どもプラン運営委員会を終了します。